

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO法人チャトン キッズサポートsora			
○保護者評価実施期間	令和8年1月10日 ～ 令和8年1月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和8年1月10日 ～ 令和8年1月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達が、自己選択できる環境や支援を提供し、自己決定をする力が育まれている。	・ひとり一人が理解しやすい方法、手段を利用児と一緒に見つけ、実生活に落とし込む。 (メモをとる、絵カード、文字起こし、動画等) ・自分でやりやすい方法を身につけ、実生活にも般化していく。	・ガイドラインに定められている、4つの基本活動を再度確認し、活動内容と照らし合わせ、可視化していく。 ・連続性のある活動に取り組むことで、見通しや意欲、期待を持ちながらすすめることができる。
2	活動内容が固定化されることなく、利用児の様子に合わせた活動内容を取り入れている。	・子ども達の興味関心に沿った内容にしている。 ・連続性のある活動に取り組むことで、見通しや意欲、期待を持ちながら取り組めるよう立案している。 ・利用児と一緒に立案をすることで、自己発揮する場を多く設けている。	・今後も、利用児の“やってみたい”の気持ちを大切に、活動に取り組む“できた、やってよかった”の経験を積み重ね、安心して自己発揮する場を提供していく。
3	駅や公共施設、お店などの近くにあり、利便性が高いため、社会スキルを実体験から身につけることができる。	・事前に利用施設の下見や当日の職員配置の確認などを丁寧にし、事故や怪我に十分配慮することや、ねらいを共通認識して支援できるようにしている。 ・戸外活動の際は都度、保護者の方にも行程表や様子を共有をしている。	・周辺施設に当事業所のことを知っていただき、戸外活動への理解や協力が得やすい関係作りに努めていく。 ・事業所主催のイベントを開催し、交流を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場が少ない。	・参加したくなるような内容の会や場を設けられていない。 ・参加しやすい日時の設定が難しい。	・事業所開放期間（自由参観）を今後も定期的に実施し、行きやすい、話しやすい開かれた事業所にしていく。 ・年度初めに年間スケジュールとして、早めの周知を丁寧にやっていく。
2	家族支援のプログラムが確立されていない。 (ペアレントトレーニング等)	・ご希望がある際には、個別で面談等を実施しているが、ペアレントトレーニングなどのプログラムは実施していない。 ・ペアレントトレーニングを実施できる職員や講師を確保できていない。	・定期的な面談以外にも個別での面談を実施を継続していく。 ・研修会に積極的に参加し、より質の高い支援にしていく。
3	避難訓練実施や災害マニュアルの周知が足りない。	・年間スケジュールに避難訓練（火災、地震、洪水）、不審者訓練を設定し、実施している。 ・避難場所、避難経路などの確認を利用児と一緒に取り組んでいる。	・保護者の方に、避難訓練の周知、災害時の対応、災害マニュアルの閲覧可能等を定期的に伝えていく。 ・再度、避難経路や避難場所の周知、訓練への参加、引き渡し訓練などを実施して万が一に備えていく。